

		施策	取組の方向性	主な取組例	令和7年度取組実績 ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	令和8年度取組内容（予定）
基本方針Ⅰ	健康寿命の延伸にむけた食育	生活習慣病の発症と重症化予防	（１）健康的な食生活の普及推進	「やさしおベジ増し宣言」（主食・主菜・副菜がそろった食事を1日に2回以上とることを基本に、身体にやさしい塩加減で、野菜を増した食生活を実践すること）の定着にむけた普及啓発	＜健康推進課＞ ○私の「やさしおベジ増し宣言」について、令和7年度より「第6回私のやさしおベジ増し宣言」を通年で募集。県内市町村や関係機関への周知に加えて、JAならけんの副読本へ掲載。募集した宣言内容についてはHP等で周知。また、応募者へは上期：4月1日～9月30日分、下期：10月1日～3月31日で集約し抽選で粗品（広く住民が活用できそうな宣言内容をまとめたカレンダー）を贈呈。 ○令和6年度に作成した15秒の健康関係啓発動画「YQJ0 1 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供した。奈良県公式YouTube等を通じて情報発信を行い、令和8年6月17日現在で約46万回再生されている（10種の動画合計）。 ○近鉄百貨店橿原店との覚書に基づいて、健康的な食事や生活習慣に関する相談・普及啓発を実施する。実施回数は8月から月に一度（8回）実施。 ○減塩ツールをHPへ掲載し、市町村等での活用を促進した。	＜健康推進課＞ ○私の「やさしおベジ増し宣言」について、通年で募集し、上期：4月1日～9月30日分、下期：10月1日～3月31日で集約し抽選で粗品（広く住民が活用できそうな宣言内容をまとめたカレンダー）を贈呈予定。 ○減塩ツールをHPへ掲載し、市町村等での活用を促進する。 ○令和6年度作成した15秒の健康関係啓発動画「YQJ0 1 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供する。 ○近鉄百貨店橿原店との覚書に基づいて、健康的な食事や生活習慣に関する相談・普及啓発を実施する。実施回数は8月から月に一回程度（7回）の予定。
				減塩及び野菜の摂取量増加に関する実践方法の普及啓発	＜保健所＞ ○県内のスーパーマーケット等と協力し啓発イベントを実施。令和7年6月2日天理駅前コフフン（郡山）、令和7年6月13日にライフ御所店、8月29日にオークワ葛城忍海店（中和）、令和7年5月30日にライフ大淀店（吉野） ○9月の「食生活改善普及運動」月間での、野菜摂取に関する掲示や食育ポスターの掲示 ○食育の日の普及啓発として、毎月19日に庁内アナウンスと減塩ソングを流した。	＜保健所＞ ○県内のスーパーマーケット等と協力し啓発イベントを実施予定。令和8年6月16日にスーパーヤオヒコ三郷店（郡山）、令和8年5月29日にイズミヤスーパーセンター広陵、9月1日にスーパーおくやま結崎店（中和）、令和8年5月29日にライフ大淀店（吉野） ○食育の日の普及啓発として、毎月19日に庁内アナウンスと減塩ソングを流す予定。 ○食育の日の普及啓発として、毎月19日に奈良県公式Xにて、食育の日の啓発とやさしおベジ増しレシピの配信を実施（7月3日時点の総閲覧数：5,330回）（中和） ○9月の「食生活改善普及運動」月間での、野菜摂取に関する掲示や食育ポスターの掲示予定。
				奈良県減塩ツール「高血圧の人のための減塩教室実施マニュアル」等の活用促進	＜食生活改善推進員＞ ◎幼児期～高齢世代を対象にテーマに沿った事業（保育所等食育教室・生活習慣病予防クッキング等） ◎おやこの食育教室・生涯骨太クッキング・男性のための料理教室・ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐ健康プロジェクト事業等 ◎市町村等健康づくり事業への協力	＜食生活改善推進員＞ ◎幼児期～高齢世代を対象にテーマに沿った事業（保育所等食育教室・生活習慣病予防クッキング等） ◎おやこの食育教室・生涯骨太クッキング・ヘルスサポーター養成事業及び多世代がつながる地域の共食推進事業等 ◎市町村等健康づくり事業への協力
				1日3食、ゆっくりよく噛んで食べる等、適切な食生活習慣に関する普及啓発	＜栄養士会＞ ◎栄養ケア・ステーション事業 県民の毎日の食・栄養について、直接的にサポートを行い健康的な食生活の普及推進を図る。 ・健診センターの特定保健指導 ・健康づくりや栄養改善・食育に関する講演、 ・県内大学における学生への食支援 ・市町村等の健康または食育に関するイベントでの普及啓発 ・高齢者サロンでの健康教育 ・料理教室の講師	＜栄養士会＞ ◎栄養ケア・ステーション事業 県民の毎日の食・栄養について、直接的にサポートを行い健康的な食生活の普及推進を図る。 ・健診センターの特定保健指導 ・健康づくりや栄養改善・食育に関する講演、 ・県内大学における学生への食支援 ・市町村等の健康または食育に関するイベントでの普及啓発 ・高齢者サロンでの健康教育 ・料理教室の講師
				適正体重の維持に関する普及啓発	等	等
				市町村や保険者が行う健診等に合わせて、個別の健康状態に応じた栄養指導を充実	＜市町村＞ ○市町村や保険者が行う健診等に合わせて、個別の健康状態に応じた栄養指導を実施している	＜市町村＞ ○市町村や保険者が行う健診等に合わせて、個別の健康状態に応じた栄養指導を実施している
				食品販売事業者等に対して、健康的な食生活支援に関する情報提供の実施	＜健康推進課・保健所＞ ○「やさしおベジ増しプロジェクト」において、食品販売事業者等に対する支援を実施した。 令和7年度は6事業者が新規登録し、健康推進課作成の啓発チラシ配布等協力いただいた。 実施要領の改正を行い、事業者（社員食堂）についても支援し、1事業者が新規登録につながった。	＜健康推進課・保健所＞ ○「やさしおベジ増しプロジェクト」において、食品販売事業者等に対する支援を随時実施。 →1つの小売店に対してお惣菜の食塩量の改善を支援し、やさしおベジ増しプロジェクトの参加につながった（中和）
			（２）職場における食育の推進	特定健診の受診促進及び保健指導の利用啓発	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎付加健診を含めた特定健診の受診促進と食事・栄養指導を含む保健指導の利用啓発	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎人間ドック等を含めた特定健診の受診促進と食事・栄養指導を含む保健指導の利用啓発 ◎特設ページ（食事習慣の改善に向けたコラム）を活用したWEB広報の実施
				「職場まるごと健康宣言」（健康経営の考え方を取り入れて従業員の健康保持増進を図る）の普及啓発	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎職場まるごと健康宣言事業所数の増加（1,784社/令和7年度末時点）	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎職場まるごと健康宣言事業所数の増加
				事業所における健康づくりの取組支援	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎健康講座の実施 ＜健康推進課・保健所＞ ○「働く人の健康づくり推進サポート事業」において、県内の個別事業所を対象に健康づくりに関する取組の提案及び実行支援を行った。（健康推進課） ○「バトンをつなごう！職場で健康づくりリレー事業」において管内の3事業所対象に健康づくりの支援実施。（中和）	＜全国健康保険協会奈良支部＞ ◎健康講座の実施 ＜健康推進課・保健所＞ ○「働く人の健康づくり推進サポート事業」において、県内の個別事業所を対象に健康づくりに関する取組の提案及び実行支援を行う。（健康推進課） ○「バトンをつなごう！職場で健康づくりリレー事業」において管内の事業所対象に健康づくりの支援を行う。（中和）
				社員食堂等において、健康に配慮したメニューの提供および啓発媒体の掲示	＜保健所＞ ○事業所（社員食堂）の定食の食塩量の改善を支援し、従業員が食塩や野菜量に配慮された食事を選択できるよう、啓発媒体を作成・提供（中和） ○食育月間ポスターを掲示（吉野）	＜保健所＞ ○やさしおベジ増しプロジェクトに登録している2事業所の社員食堂に食育月間ポスターを掲示（吉野）
				地域職域連携推進協議会の開催	＜健康推進課＞ ○地域職域連携推進協議会の開催 ＜保健所＞ ○管内商工会へ聞き取り調査を実施、地域職域連携推進会議を開催	＜健康推進課＞ ○地域職域連携推進協議会の開催 ＜保健所＞ ○地域職域連携推進会議を開催

		施策	取組の方向性	主な取組例	令和7年度取組実績 ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	令和8年度取組内容（予定）
基本方針Ⅰ	健康寿命の延伸にむけた食育	高齢者の健康づくり	(3) フレイル・低栄養予防の推進	フレイル予防のための食事に関する啓発媒体の作成及び普及啓発	<保健所> ○食生活改善推進員連絡協議会の各支部において、フレイル予防をテーマとした講義や調理実習を実施	<栄養士会> ◎「食べて 働いて 楽しんで」 元気にフレイル予防のチラシを配布
				通いの場等において適切な食事内容や食べ方に関する普及啓発	<栄養士会> ◎フレイル・低栄養予防等の啓発媒体を作成し、地域高齢者・介護予防事業関係者等が参集する場において、低栄養・フレイル予防に関する講話を実施 ◎低栄養・フレイル予防に関する講話を実施 ◎市町村の保健事業と介護予防の一体的事業および介護予防事業等において、フレイル・低栄養予防の取組を実施 <食生活改善推進員> ◎災害時の食事支援教室・やさしい在宅介護食教室	<栄養士会> ◎低栄養・フレイル予防に関する講話を実施 ◎市町村の保健事業と介護予防の一体的事業および介護予防事業（ポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチ）等において、フレイル・低栄養予防の取組を実施 <食生活改善推進員> ◎高齢世代対象講習会
				地域ケア会議に栄養士が参画し、要支援高齢者等の食生活支援や訪問食事相談を実施	<栄養士会> ◎地域ケア会議に参画し、要支援高齢者等の食生活支援、または訪問食事相談の継続実施 <保健所> ○令和8年2月13日に在宅療養者の栄養管理に関する研修会を開催（中和）	<栄養士会> ◎地域ケア会議に参画し、要支援高齢者等の食生活支援、または訪問食事相談の実施 <保健所> ○在宅療養者の栄養管理に関する研修会を開催予定（中和）
				市町村における地域ケア会議の実施及び支援	<地域包括支援課> ○地域ケア会議に多様な専門職が参画する体制や地域課題の検討状況等、市町村における現状・課題の分析を行った。また、地域ケア会議における政策形成機能強化へ向けた研修会の開催の他、全市町村への個別ヒアリングを実施し、計画策定を見据えた助言等を実施した。	<地域包括支援課> ○課題に応じた市町村向け伴走支援・個別相談や、自立支援・重度化防止へ向けた研修会を開催予定
			(4) オーラルフレイル予防の推進	オーラルフレイルに関する普及啓発	<保健所> ○市町村主催会議や健康増進計画・食育推進計画等の歯科口腔分野への個別支援、歯と口の健康週間普及啓発を実施 ○市町村ヒアリングで歯周疾患検診の実施体制について助言、歯周疾患検診マニュアル改定について研修会・会議を開催	<保健所> ○市町村主催の会議への参加や、健康増進計画・食育推進計画等の歯科口腔分野への個別支援、歯と口の健康週間啓発を実施
				市町村における歯周疾患検診等の推進		
	自然に健康になれる食環境づくり	(5) 食品関連事業者における食育の推進		「主食・主菜・副菜を組み合わせた弁当」や「美味しく減塩された惣菜」等の提供販売に取り組む「やさしおベジ増しプロジェクト」の推進	<健康推進課・保健所> ○各保健所を通じた事業者への周知、「やさしおベジ増しプロジェクト」登録に向けた支援を実施し、令和7年度は6事業者が登録され、令和8年3月31日現在で69店舗となっている。 <栄養士会> ◎配食弁当やお惣菜を提供する事業者に対し、適切に栄養管理された食事の提供に向けた相談窓口の設置	<健康推進課・保健所> ○各保健所を通じた事業者への周知、「やさしおベジ増しプロジェクト」登録に向けた支援を行う <栄養士会> ◎配食弁当やお惣菜を提供する事業者に対し、適切に栄養管理された食事の提供に向けた相談窓口の継続設置
				配食事業者等に対する栄養管理等の指導支援	<栄養士会> ◎事業者に個別指導・支援を行い、適切な食事の提供の販売に繋げる。（栄養士会） <保健所> ○やさしおベジ増しプロジェクト参加配食事業者（有限会社コーナー）に販売促進ポスターや啓発ロゴマークを提供（中和）	（再掲）<栄養士会> ◎配食弁当やお惣菜を提供する事業者に対し、適切に栄養管理された食事の提供に向けた相談窓口の継続設置
				農産物直売所やスーパー等で、県産農産物PRの取組と併せた野菜摂取に関する普及啓発	<ＪＡならけん> ◎「やさいの日」や「牛乳の日」など、農畜産物の記念日にあわせて無料配布等による消費拡大に向けたPRに取り組んだ。 ◎まほろばキッチンにおいて、様々な店頭、店内イベントを企画し、県産農産物の消費拡大に向けたPR活動に取り組んだ。 ◎広報誌のリニューアルに伴い、レギュラーコーナーとして、まほろばキッチンで取り扱う県産野菜とそれらを活用したレシピを紹介を行った。 <ならコープ> ◎【地産地消を進める会】 食べるなら大和：お米の田植えから稲刈り、じゃがいも植え、収穫、さつまいもの収穫などを通して食べる大切を伝える。831野菜の日に一日に必要な野菜の摂取量の目安などを分かりやすく展示、レシピの配布	<ＪＡならけん> ◎「やさいの日」や「柿の日」「牛乳の日」など、農畜産物の記念日にあわせて無料配布や試食等による消費拡大に向けたPRに取り組む ◎まほろばキッチンにおいて、様々な店頭、店内イベントを企画し、県産農産物の消費拡大に向けたPR活動に取り組む ◎広報誌のレギュラーコーナーとして、まほろばキッチンで取り扱う県産野菜とそれらを活用したレシピを紹介する ◎JA共済の地域貢献活動支援制度を活用してタレントを招き、イベント等において県産農産物のPR活動を実施する <ならコープ> ◎お米の田植えから稲刈り、じゃがいもの植え付け、収穫、さつまいもの収穫を予定
				商品陳列棚等を利用した食の情報発信	<ＪＡならけん> ◎各売場に設置している手作りPOPを工夫して訴求力を高め、野菜の効能やレシピ等の情報発信を行った <ならコープ> ◎各店舗にて奈良県産の野菜陳列コーナーを設置し、野菜摂取の大切さを伝えている	<ＪＡならけん> ◎各売場に設置している手作りPOPを工夫して訴求力を高め、野菜の効能やレシピ等の情報発信を行う ◎広報誌で県産野菜の紹介やレシピの紹介を行うとともに、使用した野菜の効能等の紹介を行う ◎Instagramにおいて県産野菜の紹介等、情報発信に取り組む <ならコープ> ◎引き続き各店舗にて奈良県産の野菜陳列コーナーを設置し、野菜摂取の大切さを発信
		(6) 給食を通じた食育の推進		給食施設の管理者、担当者を対象とした栄養管理の向上、食育推進、衛生管理等に関する研修会の開催及び個別指導・支援	<保健所> ○特定給食施設等関係職員研修会を開催。また、特定給食施設等に対して、個別に訪問指導を実施。その他、電話・窓口での相談に随時対応	<保健所> ○特定給食施設等関係職員研修会を開催。また、特定給食施設等に対して、個別に訪問指導を実施。その他、電話・窓口での相談に随時対応
				社員食堂等において、健康に配慮したメニューの提供および啓発媒体の掲示（再掲）	（再掲）<保健所> ○事業所（社員食堂）の定食の食塩量の改善を支援し、従業員が食塩や野菜量に配慮された食事を選択できるよう、啓発媒体を作成・提供（中和） ○食育月間ポスターを掲示（吉野）	（再掲）<保健所> ○やさしおベジ増しプロジェクトに登録している２事業所の社員食堂に食育月間ポスターを掲示（吉野）

		施策	取組の方向性	主な取組	令和7年度取組実績 ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	令和8年度取組内容（予定）
基本方針Ⅱ	次世代の健全な食習慣形成のための食育	健やかな発育、基本的な生活習慣の形成	（7）保育所・幼稚園等における食育の推進	保育所、認定こども園、幼稚園における発達発育段階に応じた、組織的・継続的・計画的な食育の推進	<日本保育協会奈良支部> ◎各種研修会などで食育推進を行う <こども保育課> ○児童福祉施設給食関係者研修会（こどもの育ちに応じた日々の食事と食育：7／3実施） ○保育所等における給食及び食育に関する調査を実施	<日本保育協会奈良支部> ◎各種研修会などで食育推進を行う <こども保育課> ○児童福祉施設給食関係者研修会（チームで考えるこどもの育ちにあわせた食支援：9／15実施予定） ○保育所等における給食及び食育に関する調査を実施予定
				地元食材を利用した給食の提供	<日本保育協会奈良支部> ◎日本保育協会会員に向けてパンフレット等情報発信を行う	<日本保育協会奈良支部> ◎日本保育協会会員に向けてパンフレット等情報発信を行う
				保護者にむけた食に関する情報発信		
				ICT等を活用した食育の実践力と指導力を育成するためのプログラムの作成及び普及推進	<こども保育課> ○奈良っ子はぐくみワークブック「ひとたね」を活用した研修会（2／26実施）	
			（8）小・中学校等における食育の推進	学校における食に関する指導を組織的・継続的・計画的に実施	<体育健康課> ○「食に関する指導の全体計画」の作成とそれに基づく組織的な食育の推進について県立学校及び各市町村教育委員会に周知した。年度末に食育推進状況調査を実施した。	<体育健康課> ○食育推進委員会等の設置と開催、及び「食に関する指導の全体計画」の作成とそれに基づく組織的な食育の推進について県立学校及び各市町村教育委員会に周知する。年度末に食育推進状況調査を実施する
				栄養教諭や学校栄養職員等を対象に食育推進状況調査の結果の共有及び資質向上を図るための研修会の実施	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎栄養教諭・学校栄養職員等を対象とした研修会で、調査結果の共有及び資質向上を図った。	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎栄養教諭・学校栄養職員等を対象とした研修会で、調査結果の共有及び資質向上を図る
				学校給食を教材とした食に関する指導の充実	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎学校給食を生きた教材と捉え、日々の給食指導や関連する教科及び総合的な学習の時間等を活用し、学校全体での組織的な取組を推進した。	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎学校給食を生きた教材と捉え、日々の給食指導や関連する教科及び総合的な学習の時間等を活用し、学校全体での組織的な取組を推進する。（体育健康課・奈良県学校給食会）
				学校給食における地産地消の推進	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を呼びかけた。「カレーの日」である1月22日（その前後）に、県下一斉で、地域の特色を生かしたカレーの提供と献立を活用した食に関する指導を実施する「奈良県学校給食カレーの日」を実施した。	<体育健康課・奈良県学校給食会> ◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を図る。「カレーの日」である1月22日（その前後）に、県下一斉で、地域の特色を生かしたカレーの提供と献立を活用した食に関する指導を実施する「奈良県学校給食カレーの日」を実施する。
			（9）子育て家庭・地域における食育の推進	妊産婦・乳幼児の栄養指導を実施	<市町村>○妊産婦・乳幼児の栄養指導を実施。	<市町村>○妊産婦・乳幼児の栄養指導を実施。
				保護者にむけた食育の情報発信	<PTA協議会>◎保護者にむけた食育の情報発信	<PTA協議会>◎保護者にむけた食育の情報発信
				親子が地域の人とつながる居場所、地域の子育て支援活動の場となるこども食堂の普及	<こども食堂ネットワーク：奈良県社会福祉協議会> ◎県内で多様な活動実践（会食型、配食型、食材配付型など）を展開しているこども食堂の豊かな取組を広く周知・啓発を行う。令和7年度末こども食堂設置数：206箇所 <こども家庭課> ○今年度はこどもにとって身近な居場所となり得る、こども食堂の活動を支援するため、以下の事業を実施 ①奈良こども食堂サポート事業（県コーディネーターによる相談・連携等） ②こども食堂スタートアップ事業（新規開設経費補助） 令和7年度補助実績：16団体 ③こども食堂はぐくみ活動支援事業（利用料無料のこども食堂の運営費等補助）令和7年度補助実績：34団体 ④こども食堂認証制度事業（安心・安全を確保するこども食堂を認証し、補助）令和7年度末認証団体：27団体 ○市町村や地域が主体的にこどもの重要な支え手であるこども食堂を普及していくため、自治体や地元企業、ボランティア団体など地域の多様な主体が参画する交流会やネットワーク構築を検討してもらうよう、引き続き市町村に働きかけを行う。	<こども食堂ネットワーク：奈良県社会福祉協議会> ◎県内で多様な活動実践（会食型、配食型、食材配付型など）を展開しているこども食堂の豊かな取組を広く周知・啓発を行う。 <こども家庭課> ○今年度はこどもにとって身近な居場所となり得る、こども食堂の活動を支援するため、以下の事業を実施 ①奈良こども食堂サポート事業（県コーディネーターによる相談・連携等） ②こども食堂スタートアップ事業（新規開設経費補助） ③こども食堂はぐくみ活動支援事業（利用料無料のこども食堂の運営費等補助） ④こども食堂認証制度事業（安心・安全を確保するこども食堂を認証） ○市町村や地域が主体的にこどもの重要な支え手であるこども食堂を普及していくため、自治体や地元企業、ボランティア団体など地域の多様な主体が参画する交流会やネットワーク構築を検討してもらうよう、引き続き市町村に働きかけを行う
				食について学び体験するイベント等の実施	<JAならけん> ◎県下各地区で「あぐりスクール」や「ちゃぐりんフェスタ」を開催、体験型の食農教育を通じて、子どもたちに食と農の大切さを発信した。 ◎組合員組織である青壮年部や女性部の活動、また女性大学の取組において、食や農について楽しく学ぶ体験型のイベントを実践した。 ◎子どもたち向けに食農教育に資する教材本「ならの畑で生まれたなかがたち」や「ちゃぐりん」等を配布、教育現場での活用促進を図った。 ◎地域の多様な団体等と連携し、各支店の協同活動の取組みとして、食育の推進に資する取組（田植えやフードドライブ活動）を実施した。 <教育振興課> ○県立野外活動センターにおいて、野外炊飯や食文化体験を通じて、協調性や社会性を身につけるとともに、食についての理解を深める取り組みを実施する。 <中央卸売市場> ○ならいちばのキッチン料理教室（7/5, 9/27, 12/20実施） <奈良県魚食普及協議会> ○県内の公的団体が主催する「子ども」や「親子」を対象とした料理教室、魚料理の調理実習をする学校に対して教材となる魚介類を提供する。（材料提供事業 開催回数：30回、参加人数：1,274人）	<JAならけん> ◎県下各地区で「あぐりスクール」や「ちゃぐりんフェスタ」を開催し体験型の食農教育を通じて、子どもたちに食と農の大切さを発信する。 ◎組合員組織である青壮年部や女性部の活動、また女性大学の取組において、食や農について楽しく学ぶ体験型のイベントを企画・実践する。 ◎子どもたち向けに食農教育に資する教材本を作成して配布し、教育現場での活用促進を図る。 ◎地域の多様な団体等と連携し、各支店の協同活動の取組みとして、食育の推進に資する取組みを実施する。 <教育振興課> ○県立野外活動センターにおいて、野外炊飯や食文化体験を通じて、協調性や社会性を身につけるとともに、食についての理解を深める取り組みを実施する。 <中央卸売市場> ○ならいちばのキッチン親子料理教室（7/11, 9/26, 12/19実施予定） <奈良県魚食普及協議会> ○県内の公的団体が主催する「子ども」や「親子」を対象とした料理教室、魚料理の調理実習をする学校に対して教材となる魚介類を提供する。
			（10）若い世代に対する取組の推進	若い世代の関心事を切り口とした食に関する情報発信	<健康推進課・ヘルスチーム菜良> ○ヘルスチーム菜良、イオンリテール株式会社との協同による弁当販売事業を実施。10月15日～10月28日に各大学が考案した健康や栄養面に配慮した弁当を近畿府県のイオン・イオンスタイル85店舗で販売し、販売促進につながる啓発を行った。大和郡山フェア期間中1,091食販売 （再掲）<健康推進課> ○令和6年度作成した15秒の健康関係啓発動画「Y0J01 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供。	<健康推進課・ヘルスチーム菜良> ○ヘルスチーム菜良、イオンリテール株式会社との協同による弁当販売事業を実施。10月14日～10月27日（予定）に各大学が考案した健康や栄養面に配慮した弁当を販売する取組を行う。 （再掲）<健康推進課> ○令和6年度作成した15秒の健康関係啓発動画「Y0J01 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供する。
				SNS等のデジタルツールを活用した、健全な栄養・食生活の実践に役立つ情報提供		
				大学生による食育活動を支援		

		施策	取組の方向性	主な取組	令和7年度取組実績 ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	令和8年度取組内容（予定）
基本方針Ⅲ	奈良の食の魅力向上のための食育	奈良の食の理解と実践	（１１）地産地消の推進	「地の味・土の香」（地産地消を進めるために県と連携協定を締結した直売所）の店舗情報をホームページに掲載	<豊かな食と農の振興課> ○「地の味 土の香」の店舗情報をホームページに掲載。	<豊かな食と農の振興課> ○「地の味 土の香」の店舗情報をホームページに掲載。
				「おいしい奈良産協力店」の認定とホームページへの掲載	<豊かな食と農の振興課> ○「おいしい奈良産協力店」の店舗情報をホームページに掲載。	<豊かな食と農の振興課> ○「おいしい奈良産協力店」の店舗情報をホームページに掲載。
				学校給食における地産地消の推進（再掲）	（再掲）<体育健康課・学校給食会> ◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を呼びかけた。「カレーの日」である1月22日（その前後）に、県下一斉で、地域の特色を生かしたカレーの提供と献立を活用した食に関する指導を実施する「奈良県学校給食カレーの日」を実施した。	（再掲）<体育健康課・学校給食会> ◎6月、11月に実施する「地場産物等実態調査」にて活用状況を把握し、更なる活用の推進を図る。「カレーの日」である1月22日（その前後）に、県下一斉で、地域の特色を生かしたカレーの提供と献立を活用した食に関する指導を実施する「奈良県学校給食カレーの日」を実施する。
				農産物直売所やスーパー等で、県産農産物PRの取組と併せた野菜摂取に関する普及啓発（再掲）	（再掲）<ＪＡならけん> ◎「やさいの日」や「牛乳の日」など、農畜産物の記念日にあわせて無料配布等による消費拡大に向けたPRに取り組んだ。 ◎まほろばキッチンにおいて、様々な店頭、店内イベントを企画し、県産農産物の消費拡大に向けたPR活動に取り組んだ。 ◎広報誌のリニューアルに伴い、レギュラーコーナーとして、まほろばキッチンで取り扱う県産野菜とそれらを活用したレシピの紹介を行った。 （再掲）<ならコープ> ◎8/31に、831（野菜の日）として、 店舗にて県内産の野菜の配布 お米キャラバン 店頭にて奈良県産「ひのひかり」を販売促進し、認知を広める活動	（再掲）<ＪＡならけん> ◎「やさいの日」や「柿の日」「牛乳の日」など、農畜産物の記念日にあわせて無料配布や試食等による消費拡大に向けたPRに取り組む。 ◎まほろばキッチンにおいて、様々な店頭、店内イベントを企画し、県産農産物の消費拡大に向けたPR活動に取り組む。 ◎広報誌のレギュラーコーナーとして、まほろばキッチンで取り扱う県産野菜とそれらを活用したレシピを紹介する。 ◎JA共済の地域貢献活動支援制度を活用してタレントを招き、イベント等において県産農産物のPR活動を実施する。
				県産食材の情報や県産食材を味わえる県内飲食店等の情報をWebサイト「奈良コレ」で発信	<豊かな食と農の振興課> ○県産食材や県内飲食店等の情報発信を継続	<豊かな食と農の振興課> ○県産食材や県内飲食店等の情報を「奈良コレ」で発信。
			（１２）食文化（郷土食）の継承	保育所給食や学校給食において郷土料理を取り入れた献立の実施	<体育健康課> ○各種研修会において、栄養教諭等に郷土料理や伝統料理の積極的な提供を呼びかけた。年度末に郷土料理等実施状況調査を実施した。 <日本保育協会奈良支部> ◎食育の研修会などで受講者同士の情報交換を行い、工夫した献立など自園でも取り入れられるように情報を共有する。	<体育健康課> ○各種研修会において、栄養教諭等に郷土料理や伝統料理の積極的な提供を呼びかけるとともに、年度末に郷土料理等実施状況調査を実施する。 <日本保育協会奈良支部> ◎食育の研修会などで受講者同士の情報交換を行い工夫した献立など自園でも取り入れられるようにする。
				学校給食献立コンテストの実施（栄養価・減塩・地場産物・郷土愛・季節感等を審査）	<体育健康課> ○奈良県学校給食栄養研究会・奈良県学校給食会と連携し、学校給食献立コンテストを実施した。	<体育健康課> ○奈良県学校給食栄養研究会・奈良県学校給食会と連携し、学校給食献立コンテストを実施する。
				NAFIC附属セミナーハウスや、なら歴史芸術文化村交流にぎわい棟での食と農の情報発信	<豊かな食と農の振興課> NAFIC附属セミナーハウスにて大和茶飲み比べ（ウエルカムドリンク）や地酒飲み比べのサービス、三輪素麺の「わんこ素麺大会」等を実施	<豊かな食と農の振興課> ○NAFIC附属セミナーハウスにて大和茶飲み比べ（ウエルカムドリンク）や地酒飲み比べのサービス、三輪素麺の「わんこ素麺大会」等を実施
				県産食材や食文化（郷土食）の情報をホームページに掲載	<豊かな食と農の振興課> ○県産食材等の特徴や歴史等を紹介するホームページ「奈良コレ」や、「奈良の食文化」ホームページで情報発信	<豊かな食と農の振興課> ○県産食材等の特徴や歴史等を紹介するホームページ「奈良コレ」や、「奈良の食文化」ホームページで情報発信
				大和牛のブランド力強化、大和肉鶏の生産性の向上	<畜産課> ○大和牛については、肥育期間延長による高品質な大和牛の生産に対する支援を実施。 ○大和肉鶏については、損耗行動を防止することによる生産品質強化検討試験を実施。	<畜産課> ○大和牛については、肥育期間延長による高品質な大和牛の生産に対する支援を実施。 ○大和肉鶏については、損耗行動を防止することによる生産品質強化検討試験を実施。
				郷土料理や伝統料理を取り入れた地域の料理教室や体験活動の実施	<食生活改善推進員連絡協議会> ◎郷土・伝統料理教室の実施 <ＪＡならけん> ◎各支店の女性部活動や協同活動の取組みにおいて、地元食材などを活用した郷土料理等を学ぶ活動（柿の葉寿司作り、味噌づくり、梅干し漬け講習会、こんにゃく作りなど）を行い、地域に根ざした伝統的な食文化の継承に取り組んだ。 （再掲）<中央卸売市場> ○ならいちばのキッチン料理教室（7/5, 9/27, 12/20実施）	<食生活改善推進員連絡協議会> ◎郷土・伝統料理教室 ◎多世代交流場所『まちのだんらんカフェ』開催 <ＪＡならけん> ◎各支店の女性部活動や協同活動の取組みにおいて、地元食材などを活用した郷土料理等を学ぶ活動を企画し、地域に根ざした伝統的な食文化の継承に取り組む。 （再掲）<中央卸売市場> ○ならいちばのキッチン親子料理教室（7/11, 9/26, 12/19実施予定）。

		施策	取組の方向性	主な取組	令和7年度取組実績 ※食育推進会議委員の取組には「◎」、それ以外には「○」で記載しています	令和8年度取組内容（予定）
基本方針Ⅳ	食を支える環境づくり	食育推進のための体制整備	（１３）食の担い手の育成と活動支援	市町村行政栄養士等の配置促進および資質向上	<健康推進課・保健所> ○新任期を含めた市町村栄養士を対象に研修を年1回実施し、保健所により個別支援を随時実施した ○保健所管内市町村の栄養業務を担当する栄養士を対象に食育推進リーダースキルアップ研修会、食育担当者会議を開催	<健康推進課・保健所> ○新任期を含めた市町村栄養士を対象に研修を実施する ○行政栄養士到達目標チェックリストを活用して市町村行政栄養士の育成を個別支援 ○食育推進担当者会議の開催
				食生活改善推進員や食育ボランティア等の活動支援	<健康推進課・保健所・市町村> ○食生活改善推進員や食育ボランティア等の活動支援 <保健所> ○食育ボランティアスキルアップ研修会を実施	<健康推進課・保健所・市町村> ○食生活改善推進員や食育ボランティア等の活動支援 <保健所> ○食育ボランティアスキルアップ研修会を実施
				なら食と農の魅力創造国際大学の運営	<豊かな食と農の振興課> ○なら食と農の魅力創造国際大学の運営	<豊かな食と農の振興課> ○なら食と農の魅力創造国際大学の運営
			（１４）市町村における食育の推進	市町村食育推進計画や健康増進計画に基づく取組の推進	<市町村> ○市町村食育推進計画や健康増進計画に基づく取組の推進	<市町村> ○市町村食育推進計画や健康増進計画に基づく取組の推進
				市町村主体による栄養バランスのとれた食事、減塩、野菜の摂取量増加に関する取組の実施支援	<保健所> ○市町村主催の会議への参加や、健康増進計画・食育推進計画等へ個別支援を実施する	<保健所> ○市町村主催の会議への参加や、健康増進計画・食育推進計画等へ個別支援を実施する
			（１５）多様な主体による食育の推進	奈良県食育推進会議や保健所食育ネットワーク会議において、関係者と県の取組を相互に共有し、連携協働を推進	<健康推進課> ○奈良県食育推進会議の開催し、食育関係団体の連携協働を推進した	<健康推進課> ○奈良県食育推進会議の開催し、食育関係団体の連携協働を推進する
				企業やボランティア、関係団体と連携協働した食に関する取り組みの実施	<保健所> ○管内食育担当者会議を開催	<保健所> ○管内食育担当者会議を開催し、管内市町村と県の取組を相互に共有し、連携協働を推進する
				地域の多様な主体が参画することも食堂の普及を目指し、こども食堂の開設、運営を支援	（再掲）<こども食堂ネットワーク：奈良県社会福祉協議会> ◎県内で多様な活動実践（会食型、配食型、食材配付型など）を展開しているこども食堂の豊かな取組を広く周知・啓発を行う。令和7年度末こども食堂設置数：206箇所 （再掲）<こども家庭課> ○今年度はこどもにとって身近な居場所となり得る、こども食堂の活動を支援するため、以下の事業を実施 ①奈良こども食堂サポート事業（県コーディネーターによる相談・連携等） ②こども食堂スタートアップ事業（新規開設経費補助） 令和7年度補助実績：16団体 ③こども食堂はぐくみ活動支援事業（利用料無料のこども食堂の運営費等補助）令和7年度補助実績：34団体 ④こども食堂認証制度事業（安心・安全を確保することも食堂を認証し、補助）令和7年度末認証団体：27団体 ○市町村や地域が主体的にこどもの重要な支え手であるこども食堂を普及していくため、自治体や地元企業、ボランティア団体など地域の多様な主体が参画する交流会やネットワーク構築を検討してもらうよう、引き続き市町村に働きかけを行う。	（再掲）<こども食堂ネットワーク：奈良県社会福祉協議会> ◎県内で多様な活動実践（会食型、配食型、食材配付型など）を展開しているこども食堂の豊かな取組を広く周知・啓発を行う。 （再掲）<こども家庭課> ○今年度はこどもにとって身近な居場所となり得る、こども食堂の活動を支援するため、以下の事業を実施 ①奈良こども食堂サポート事業（県コーディネーターによる相談・連携等） ②こども食堂スタートアップ事業（新規開設経費補助） ③こども食堂はぐくみ活動支援事業（利用料無料のこども食堂の運営費等補助） ④こども食堂認証制度事業（安心・安全を確保することも食堂を認証） ○市町村や地域が主体的にこどもの重要な支え手であるこども食堂を普及していくため、自治体や地元企業、ボランティア団体など地域の多様な主体が参画する交流会やネットワーク構築を検討してもらうよう、引き続き市町村に働きかけを行う
		社会情勢の変化に対応した食育	（１６）食品ロスの削減にむけた食育の推進	食品ロス削減の必要性について県民の理解を高め、実践に結びつける啓発を実施	<豊かな食と農の振興課>○食品ロス削減の必要性について県民の理解を高め、実践に結びつける啓発を実施。	<豊かな食と農の振興課>○食品ロス削減の必要性について県民の理解を高め、実践に結びつける啓発を実施。
				「奈良県食品ロスポータルサイト」による情報発信	<豊かな食と農の振興課>○「奈良県食品ロスポータルサイト」による情報発信。	<豊かな食と農の振興課>○「奈良県食品ロスポータルサイト」による情報発信。
				未利用の農産物をこども食堂に提供	<豊かな食と農の振興課>○未利用の農産物をこども食堂に提供。	<豊かな食と農の振興課>○未利用の農産物をこども食堂に提供。
				フードバンク活動を行う団体の取組を支援	<豊かな食と農の振興課>○フードバンク活動を行う団体の取組を支援。	なし
				消費者庁食品ロス削減推進サポーター育成講座の受講推進	<豊かな食と農の振興課>○消費者庁食品ロス削減推進サポーター育成講座の受講推進。	<豊かな食と農の振興課>○消費者庁食品ロス削減推進サポーター育成講座の受講推進。
			（１７）食の安全安心の取組推進	なら食に関するリスクコミュニケーションの開催	<業務・衛生課> ○食品安全・安心懇話会を2回開催した。（令和7年9月5日対面開催、令和8年1月書面開催） ○なら食に関するリスクコミュニケーションを開催した。（防災食・防災食と食中毒予防：令和7年12月1日～12月26日オンライン）	<業務・衛生課> ○食品安全・安心懇話会を2回開催する。 ○なら食に関するリスクコミュニケーションを開催する。
				「食品衛生監視指導計画」に基づく監視指導	<業務・衛生課> ○「食品衛生監視指導計画」に基づき監視指導及び収去（抜き取り）検査を実施した。7月～8月及び12月には一斉取締を実施した。	<業務・衛生課> ○「食品衛生監視指導計画」に基づき監視指導及び収去（抜き取り）検査を実施する。7月～8月及び12月には一斉取締を実施する。
				環境負荷を低減した農産物の生産と消費を促進	<農業水産振興課> ○環境負荷低減事業活動実施計画の認定を推進するとともに、「奈良県の環境にやさしい農業シンボルマーク」表示制度の運用を通じて消費拡大を図る	<農業水産振興課> ○環境負荷低減事業活動実施計画の認定を推進するとともに、「奈良県の環境にやさしい農業シンボルマーク」表示制度の運用を通じて消費拡大を図る
		（１８）デジタル化に対応した食育の推進		デジタル技術を活用した食育活動の展開	（再掲）<健康推進課・保健所> ○令和6年度作成した15秒の健康関係啓発動画「Y0J01 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供。	（再掲）<健康推進課・保健所> ○令和6年度作成した15秒の健康関係啓発動画「Y0J01 STEP」をイベント等で活用するとともに、希望があった市町村や関係機関へ提供する。 ○食育の日の普及啓発として、毎月19日に奈良県公式Xにて、食育の日の啓発とやさしおベジ増しレシピの配信を実施（7月3日時点の総閲覧数：5,330回）（中和）
				ICT等を活用した食育の実践力と指導力を育成するためのプログラムの作成及び普及推進（再掲）	（再掲）<こども保育課> ○奈良っ子はぐくみワークブック「ひとたね」を活用した研修会を実施。	
		（１９）災害時の備えの推進		自分や家族の健康状態にあった食べ物や飲料水等の備蓄の促進、非常時にも応用できる調理技術の習得について普及啓発	<栄養士会> ◎県および三宅町合同防災総合訓練において、空き缶炊飯やバッククッキングの実演および災害時備蓄食品の展示等を行い災害時の食の備えの普及啓発 ◎各種機関・団体からの依頼によるバッククッキング・空き缶炊飯および災害時の食事に関する講演等による普及活動	<栄養士会> ◎県の防災総合訓練において、空き缶炊飯やバッククッキングの実演および災害時備蓄食品の展示等を行い災害時の食の備えの普及啓発 ◎各種機関・団体からの依頼によるバッククッキング・空き缶炊飯および災害時の食事に関する講演等による普及活動 ◎日本栄養士会所有の災害時初動調査車の展示
				給食施設における災害時対応マニュアルの作成及び備蓄食の整備	<保健所> ○管内特定給食施設等関係職員研修会において、「給食施設における栄養管理の手引き」の中の危機管理体制の整備に該当するページで、新たに追加した様式(非常用献立等)や、栄養管理報告書から見た災害時対応マニュアルの作成及び備蓄等の対応状況について情報提供。	<こども保育課> ○保育所等における食事提供の手引き（令和8年6月改訂）に、災害時対応等に関する情報を追加し、保育施設へ周知。児童福祉施設給食担当者研修会（9／15）にて上記を情報提供予定。 <保健所> ○「災害対策」をテーマに特定給食施設等関係職員研修会を開催。管内給食施設における災害対策の状況について調査を実施し、その結果の情報提供や、管内給食施設の好事例共有、食のBCP作成に関する講演を実施した。（中和） ○給食施設における災害対策マニュアル作成をテーマに管内特定給食施設等関係職員研修会を開催予定。マップから災害リスクを読み取り、自施設で必要な備えについて検討する。（吉野）